

社会医療法人財団慈泉会 脳画像研究所 2019 年度活動報告

2019 年度，以下の活動を行った。毎年春に実施している活動報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

社会医療法人財団慈泉会 脳画像研究所 2019 年度（令和元年度）の主な活動

慈泉会は、相澤病院 PET センターの設備を活用し、保険診療として行われる PET 検査のみならず、保険診療外の様々な薬剤を用いた脳全身の分子イメージングを用いて各種疾患の臨床研究を積極的に行うべく、平成 25 年度に慈泉会脳画像研究所を開設した。以下に 2019 年度（令和元年度）の主な活動を報告する。

2019 年度の活動

1. ホームページを更新した (<http://www.ai-hosp.or.jp/nougazou/index.html>)
2. 脳画像研究所入口横の寄付者名掲載プレートを更新した。
3. 脳アミロイドイメージング剤 C-11 Pittsburgh compound-B (PiB)、アミノ酸代謝イメージング剤 C-11 Methionine を合成し、これらを用いた PET/CT 検査を施行した。
4. 実施した研究

実施した研究	研究期間	予定総数	2019 年度 実施数	総実施数
PiB-PET を用いた認知症診断の確立	2019 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日	10	10	10
脳腫瘍診断における 11C-メチオニン PET の有用性の検討	2017 年 6 月 20 日～ 2021 年 12 月 31 日	50	30	84
アミロイド PET を用いた、肝移植後家族性アミロイドポリニューロパチー患者における脳血管アミロイドーシスの有病率に関する研究(信州大学と共同研究)	2014 年 10 月 4 日～ 2019 年 7 月 31 日	15	0	21

アミロイド PET を用いたアミロイドーシスの診断、重症度評価、治療介入効果判定に関する研究(信州大学と共同研究)	2016年2月22日～ 2020年10月31日	80	31 (新規23 例)	95 (80例)
適時適切な医療・ケアを目指した、認知症の人等の全国的な情報登録・追跡を行う研究(ORANGE-MCI) (全国共同研究、まつもと医療センターと共同研究)	2019年4月1日～ 2025年3月31日	30	0	19
脳転移を有するEGFR 遺伝子変異陽性再発・進行非小細胞肺癌患者に対するアファチニブの治療効果の評価に向けた多施設共同前向き介入研究(信州大学と共同研究)	2018年2月16日～ 2021年3月31日	20	0	1

5. 以下の学術発表を行った。

- ① 小口和浩、高曽根健、関島良樹、伊藤敦子、金子貴久子. PiB-PET による様々な心臓アミロイドーシスの診断の検討. 第59回日本核医学会学術総会. 松山, 2019.11.2
- ② 高曽根健、高橋佑介、阿部隆太、小口和浩、吉長恒明、加藤修明、矢崎正英、関島良樹. 99mTc-Pyp と C-PiB PET を用いた非侵襲的な心アミロイドーシス診断法の確立. 第7回日本アミロイドーシス学会学術集会. 東京. 2019.8.30
- ③ 中尾聡、宮崎大吾、吉長恒明、矢崎正英、関島良樹. ATTR 型脳軟膜アミロイドーシス/脳アミロイドアンギオパチーの臨床的特徴. 第7回日本アミロイドーシス学会学術集会. 東京. 2019.8.30
- ④ 高橋佑介、高曽根健、阿部隆太、吉長恒明、加藤修明、小口和浩、矢崎正英、関島良樹. V30M 型 ATTR アミロイドーシス患者での脳アミロイドーシスの PiB-PET を用いた経時的変化の検討. 第7回日本アミロイドーシス学会学術集会. 東京. 2019.8.30
- ⑤ Yamada Y, Fukushima T, Kodama S, Shimizu H, Kakita A, Makino K, Sekijima Y. A case of cerebral amyloid angiopathy-type hereditary ATTR amyloidosis with Y69H (p.Y89H) variant displaying transient focal neurological episodes as the main symptom. Amyloid 26: 251-252, 2019